

【2026年5月21日】
送付枚数 本票含め2枚

報道機関 各位

杉山孝一郎客員教授（本学卒業生）が古在由秀賞を受賞 ～母校にて受賞記念講演会を開催～

新緑の候、貴社におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、山口大学客員教授であり本学卒業生でもある杉山孝一郎氏（タイ国立天文学研究所電波部マネージャー）が、公益財団法人天文学振興財団の「古在由秀賞」を受賞いたしました。これを記念し、山口大学にて後輩に向けた受賞記念講演会を下記のとおり開催いたします。山口大学での学びや、世界を舞台にしたキャリアなどについてお話しいただきます。つきましては、本講演会の取材及び報道等について、ご高配賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1. 受賞記念講演会について

- 日時： 2026年5月27日（水） 16:20～17:20
- 場所： 山口大学 理学部 第11講義室（山口市吉田1677-1）
- 対象： 本学学生・教職員

2. 背景と概要

【山口大学の電波天文学の研究と杉山氏】

山口大学理学部では、山口32m電波望遠鏡（KDDI山口衛星通信所内）を用いた電波天文学の研究と教育を行っています。杉山氏はこの研究グループに2005年に加わり、9年間にわたって研究を行いました。この間に、特に星の形成に関する研究で優れた業績をあげるとともに、電波望遠鏡の整備と運用に多大な尽力をいただきました。

【タイの電波天文学と新電波望遠鏡の建設】

タイ国立天文学研究所（NARIT）は新しい天文学の研究を推進しており、その一環として新大型電波望遠鏡 TNRT（Thai National Radio Telescope）が建設され、2023年から国内外の多くの研究者が利用を始めています。杉山氏は山口や茨城での経験を生かし、TNRTの建設、整備、天文学研究のための運用に至る広い分野でリーダーとして活躍し、完成に大きく貢献しました。

【杉山氏の将来の発展】

電波望遠鏡は、地理的に離れたほかの電波望遠鏡との同時観測（VLBI）を行うことで格段に性能が向上します。杉山氏は TNRT の整備だけでなく、諸外国との VLBI 観測を行うこと、さらにタイ国内で進む新たな電波望遠鏡建設構想を含めて、タイとその周辺に広がる共同観測網を作ろうと奮闘しています。

【公益財団法人天文学振興財団と古在由秀（こざいよしひで）賞】

「古在由秀賞」は元国立天文台長である古在由秀氏にちなんで設立されたもので、天文学において優れた業績があった人物に対して授与されます。杉山氏は「国際的に天文学の推進（特にアジアの天文学）に貢献した者」として表彰されました。古在由秀賞における同項目での表彰は初めてのこととなります。



図 1. 山口 32m 電波望遠鏡

元は KDDI が衛星通信用に用いていたアンテナで、通信を終えた 2001 年に国立天文台に譲渡された。山口大学は国立天文台と共同研究協定を結んで、2002 年からこのアンテナを電波望遠鏡に改造して天文学の観測に使用している。杉山氏はこの電波望遠鏡を用いて優れた研究を行った。



図 2. タイ国立電波望遠鏡 TNRT

タイ国初の電波望遠鏡。口径 40 m と大型で、低い周波数から高い周波数まで観測できる優れた機能を持つ。アジアおよび世界各国の電波望遠鏡と結んだ共同観測 (VLBI) を行い、ブラックホールや星の形成など、様々な研究を行うことが期待されている。

【お問い合わせ先】

山口大学大学院創成科学研究科（理学系学域）
教授 藤澤 健太（フジサワ ケンタ）
TEL : 083-933-5973
E-mail : kenta@yamaguchi-u. ac. jp

発信者 国立大学法人山口大学総務部
総務課広報室
〒753-8511 山口市吉田 1677-1
TEL 083-933-5007
FAX 083-933-5013
E-mail sh011@yamaguchi-u. ac. jp